

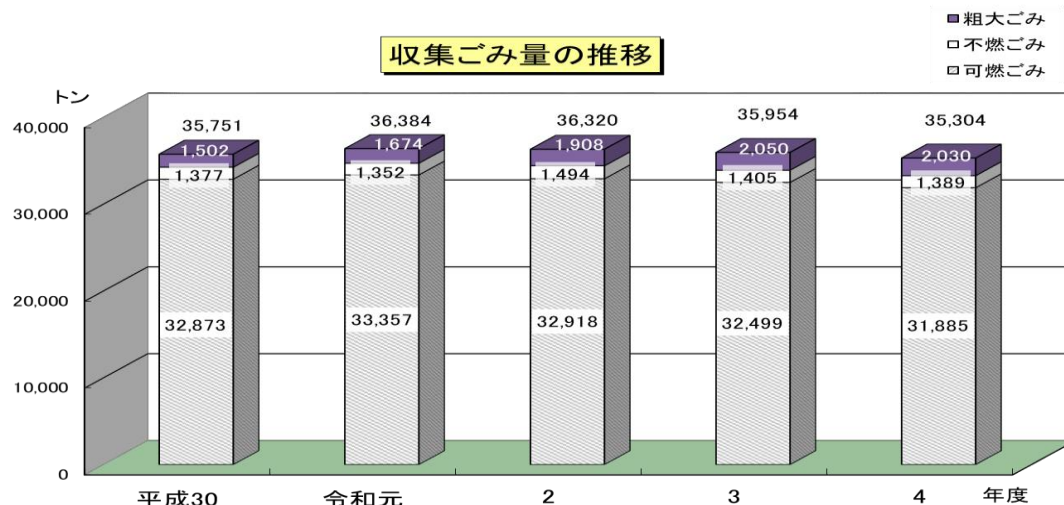
令和4年度ごみ量及び資源回収量について

👉 令和4年度における中央区の収集ごみ量及び資源回収量の報告を行う。

1-1 収集ごみ量

令和4年度における収集ごみ量は、35,304.47トンであった。これは令和3年度と比較して、量で約650トン、率にして約1.8%の減少である。内訳は下表のとおりである。

種 別	収 集 量 (t)		前 年 度 比	
	令和4年度	令和3年度	(t)	(%)
可燃ごみ	31,884.89	32,498.54	△613.65	△1.9
不燃ごみ	1,389.09	1,405.48	△16.39	△1.2
粗大ごみ	2,030.49	2,050.47	△19.98	△1.0
合 計	35,304.47	35,954.49	△650.02	△1.8

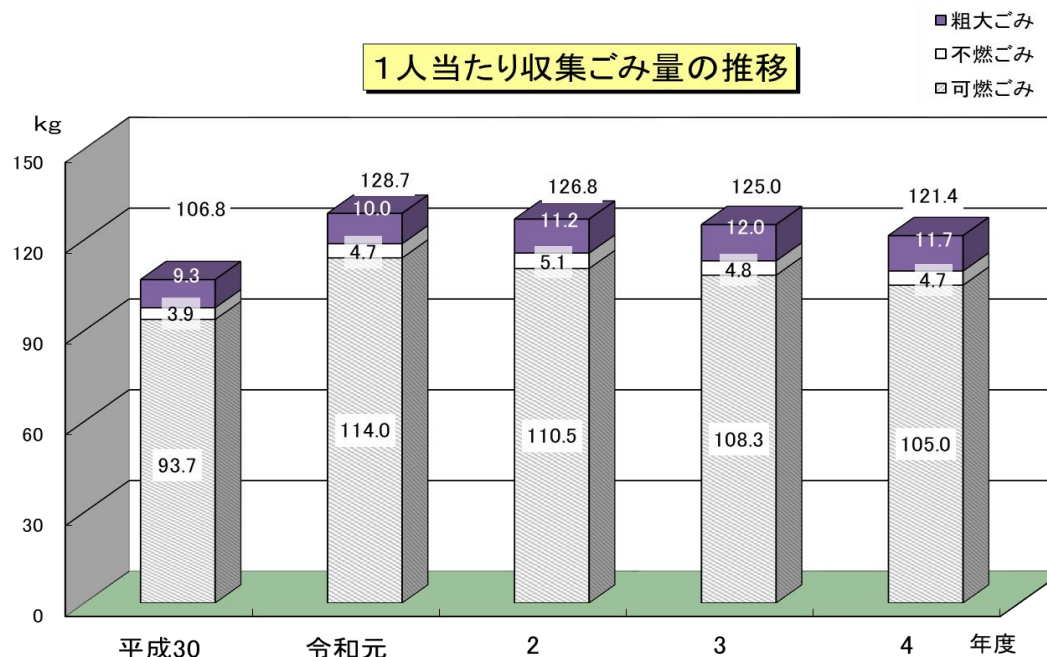


注: 表とグラフの数値について、端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。

1-2 1人当たり収集量

以下の表とグラフは、収集ごみ量(前頁)を1人当たり収集量へ換算したものである。

種 別	1人当たり収集量 (kg)		前 年 度 比	
	令和4年度	令和3年度	(kg)	(%)
可燃ごみ	104.99	108.26	△3.27	△3.0
不燃ごみ	4.65	4.76	△0.11	△2.3
粗大ごみ	11.71	11.96	△0.25	△2.1
合 計	121.36	124.99	△3.64	△2.9



注:表とグラフの数値について、端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。

1人当たり収集量は、区が収集したごみのうち、家庭分に按分されたごみ量を用いて計算している。区収集の家庭分と事業系分のごみ量の按分については、平成30年度は、平成26年度に実施したごみ排出実態調査による可燃ごみ(家庭)46.0%、不燃ごみ(家庭)45.5%の比率を、令和元年度から令和4年度までは、令和元年度に実施したごみ排出実態調査による可燃ごみ(家庭)57.1%、不燃ごみ(家庭)58.1%の比率を用いている。

なお、上記収集量の計算において人口は、各年10月1日現在の数字を用いている。

2 資源回収量

令和4年度における資源回収量(ステーション(集積所)回収・拠点回収、ピックアップ回収、集団回収)は、約14,999トンであった。資源回収量は、令和3年度と比較して、量で約473トン、率にして約3.3%の増加である。ステーション(集積所)回収・拠点回収は約0.6%減少し、集団回収は約1.4%増加した。

種 別		回 収 量 (t)		前 年 度 比	
		令和 4 年度	令和 3 年度	(t)	(%)
ステーション (集積所) 回収・拠点回収		8,586	8,637	△51	△0.6
(内訳)	ステーション (集積所) 回収	8,493	8,548	△55	△0.6
	拠 点 回 収	92	89	3	3.4
ピックアップ回収		1,831	1,369	462	33.7
集 団 回 収		4,582	4,520	62	1.4
合 計		14,999	14,526	473	3.3

《区が回収した品目別回収量》

種 別	回 収 量 (t)		前 年 度 比	
	令和 4 年度	令和 3 年度	(t)	(%)
紙 類	3,299	3,309	△10	△0.3
布 類	62	57	5	8.5
缶	331	360	△29	△8.1
び ん	3,320	3,317	3	0.1
プラスチック類・その他	1,572	1,593	△22	△1.4
粗大ごみ (ピックアップ)	495	10	485	4,850.0
不燃ごみ (ピックアップ)	1,336	1,359	△23	△1.7
合 計	10,415	10,006	409	4.1

注:区による回収品目の「プラスチック類・その他」には、電池等の品目が含まれる。
また、表とグラフの数値について、端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合がある。

